

レッドリボンバッジ実施要項

1. 趣旨

現在、HIV/エイズは世界的に大きな問題になっています。ガールガイド・ガールスカウト世界連盟は、この大切な問題を提議し、世界のガールスカウトがより多くのことを学び、世界的に広がるこの病気や人権について考える機会とするために「エイズバッジカリキュラム」を発表しました。

これを受け、日本連盟は、日本のガールスカウトがこの問題に取り組む助けとなるよう、「レッドリボンバッジ」を設けます。

2. 実施期間

平成 18 年 12 月 1 日から

3. 対象

ジュニア以上()の少女会員、成人会員

テンダーフット、ブラウニーについてはレッドリボンバッジの対象ではありませんが、集会の中でレッドリボンバッジの前段階の活動を展開することができます。例えば、ブラウニーは、部門バッジ「こんにちは お友だち」「わたしは元気」などが、「自分の心と体を大切にすること」につながり、レッドリボンバッジ取り組み準備の活動となるでしょう。

4. 申請と着用

レッドリボンバッジの申請および技能帯への着用の方法は、「ガールスカウトバッジ」「部門バッジ」と同様です。

(「バッジ申請書」を使用する場合は、「キャンペーンバッジ」に印をつけてください)

5. 課題

部門ごとの必修課題：

| | | |
|-------|---------------------------|---------------|
| ジュニア | 【ステップ1】【ステップ2】それぞれから2つ以上。 | 【ステップ3】から1つ以上 |
| シニア | 【ステップ1】【ステップ2】それぞれから3つ以上。 | 【ステップ3】から1つ以上 |
| レンジャー | 【ステップ1】【ステップ2】それぞれから4つ以上。 | 【ステップ3】から2つ以上 |
| 成人 | 【ステップ1】【ステップ2】それぞれから4つ以上。 | 【ステップ3】から2つ以上 |

*印は全員必修の課題：

取り組む課題に、【ステップ1】の5番、【ステップ2】の4番が含まれること。

なお、ここに挙げた課題以外の活動を、自分たちで考案することもできる。

【ステップ1】 正しい知識 *印は全員必修の課題

1. あなたは自分の体を大切にしていますか。自分の体で好きなところ・嫌いなどをあげてみましょう。また、それはどうしてですか。
2. いつも元気に生活するためには、どんなことに気をつけたらよいですか？
3. 「自分の心と体を大切にする」ことに関係する本を探して、団の仲間と読み、感じたことを話し合ってみましょう。
4. 学校などの「性教育」の授業で聞いた内容を書き出してみましょう。
- * 5. HIV ウィルスやエイズという病気について調べてみましょう。感染の原因、感染経路、症状などを調べてみましょう。<全員必修>
6. HIV/エイズの歴史について調べてみましょう。
7. HIV/エイズについての検査方法、相談方法、受入施設について調べてみましょう。
8. あなたの地元には、HIV/エイズ患者を受け入れてくれる施設(病院・医院・保養施設など)はありますか。調べてみましょう。
9. あなたが知っているだれかがHIV/エイズ患者であると想像してください。親せきでも同級生でもいいです。その人があなたに HIV/エイズであることを話したとして、あなたはどのようにその人を助け、友達になろうとしますか？
10. 専門家(HIV/エイズに関する活動をしている人、人権に関する活動をしている人、医師・助産師などの医療関係者、学校の養護教諭、カウンセラー、行政の担当者など)から、HIV/エイズや HIV/エイズに関連する事柄についての話をきいてみましょう。

【ステップ2】 予 防 *印は全員必修の課題

1. HIV/エイズのことを調べたら、周りの人に伝えてみましょう。例えば、いっしょに遊ぶ、食事をするなどの日常生活では、HIV ウィルスに感染しないことを伝えるポスターを描いてみましょう。
2. 家族・友だちにも HIV/エイズについて、調べたことを伝えましょう。
3. 世界エイズデー(12月1日)にあなたの学校や地域が何をするのか調べてみましょう。
- * 4. HIV/エイズに対する理解を進める活動のシンボルである赤いリボン(レッドリボン)について詳しく調べてみましょう。まずは、自分のレッドリボンを作り、身につけ、リボンの意味を家族などに説明してみましょう。<全員必修>
5. 10個のレッドリボンを作り、リボンの説明をつけて配ってみましょう。
6. HIV/エイズに関する Q&A ブックを作成し、団のみんなに見せましょう。
7. HIV/エイズ感染予防について、団や学校や地域で、専門家の話を聞ける機会をつくってみましょう。
8. 避妊と性感染症についての情報とサービスを手に入れることのできる地域の機関のリストを作成してみましょう。
9. 次のことについて仲間と話し合ってみましょう。
 - ・人体間でウィルスを感染させうる危険な行為にはどんなものがあるか
 - ・HIV/エイズの感染を防ぐ健康上の注意

【ステップ3】 人権 共に生きる

1. どんな人とも仲良くするにはどうすればよいか話し合ってみましょう。
2. HIV/エイズ患者であることを公表すると、どんなことが起こるかを想像して話し合ってみましょう。
3. 多くの人々が HIV/エイズを公表したがる理由をリストにしましょう。
4. あなたの地元では HIV/エイズに感染していることを公表するのに障害となるのはどんなことだと思いますか。
5. HIV/エイズの患者の友達や家族がいたとしたら、どんな生活なのかを想像し、話し合ってみましょう。できれば、物語やスタンプにしてみんなで考えてみましょう。
6. HIV/エイズに対する偏見などはどのようにして生まれると思いますか。話し合ってみましょう。
7. HIV/エイズに関する絵、漫画、写真、新聞や雑誌の記事を探し、それが何を伝えようとしているかまとめてみましょう。
また、その中に偏見や差別を感じる表現があったら、どうしてそう思うのか書き出してみましょう。

以 上

バッジの課題に取り組む際のリーダーの留意点

特に性に関するテーマを扱う際は、各々の家庭の方針等もあります。保護者への相談、協力要請、情報共有は積極的に行うようにこころがけましょう。

HIV/エイズに関する活動を行っている団体等(参考)

厚生労働省

財団法人 エイズ予防財団

UNAIDS(国連合同エイズ計画)

HIV/AIDS 看護研究会(JANAC)

日本学校保健会(エイズ教育情報ネットワーク)

エイズ予防情報センター

日本エイズストップ基金